

## 令和2年度山形県健康長寿推進協議会における主な意見概要

### ◎ 報 告

- (1) 健康やまがた安心プランの進捗状況等について（資料1～3）
- (2) 令和3年度主要事業の概要について（資料4～7）

### 【意見】

#### § 糖尿病・透析、がん対策関係

- 糖尿病性腎症、透析導入は、効果が出るまで5～10年かかる疾患であるため、引き続き積極的に取り組んでいただきたい。
- 透析導入となる者には働き世代が多く、職域の保険者である協会けんぽとの連携が必要である。

#### § 歯科・口腔ケア関係

- 「高齢者歯科保健マニュアル（OHAT：オハット）」を、歯科専門職以外の要介護高齢者に関わる方にも活用していただきたい。
- 市町村、介護施設職員には、誤嚥性肺炎の予防に歯科診療は必須であることを認識し、取り組んでいただきたい。

#### § 減塩・ベジアップ関係

- 糖尿病や生活習慣病の発病予防には子供のころからの食生活を正すことが大切であり、30代、40代の方の意識を変えることが必要である。
- 山形県は働く女性が多く、中食、惣菜を利用する機会が多いため、販売者側の企業や外食業界を巻き込んだ減塩・ベジアップの取組みを、様々な方面に働きかけていただきたい。

#### § 県民健康・栄養調査関係

- 県民健康・栄養調査は計画策定の基本データとなるため、コロナ対策を踏まえつつ、しっかりとした調査をお願いしたい。

#### § 職域との連携関係

- 働き世代に疾病リスクを持つ方が多いため、健康づくり、予防等の対策について、協会けんぽも県と連携して取り組ませていただきたい。

◎ 協 議

健康やまがた安心プランの見直しについて（資料 8～11）

【意見】

§ 循環器病対策委員会関係

- 循環器病予防対策は地域職域の保険者が多くを担うこととなるため、職域の保険者も委員会のメンバーに入れるよう提案する。

以上